

知ろう議会のダイレクトニュース 一步先へ

# うれしの 市議会だより

令和6年  
(2024)  
7月29日発行

vol. 74



## 令和6年 第2回定例会

補正予算	2
議案のなかみ	3
事業のなかみ	3~5
賛否表 他	6
意見書・陳情 他	7
一般質問	8~17
委員会活動	18~19
トピックス	20



発行・嬉野市議会 編集・議会広報編集特別委員会  
〒849-1492 佐賀県嬉野市塩田町大字馬場下甲1769番地  
TEL 0954(66)9127 FAX 0954(66)2887



# 一般会計総額で 215億1,905万円に



## 3億1,205万円を増額補正

令和6年第2回定例会は5月31日に招集され、6月21日までの22日間の日程で開催されました。

今議会では、報告6件、「低所得者支援及び定額減税補正給付金支給事業」の繰り越し事業など専決処分承認を求めたもの3件、嬉野市入湯税等検討委員会設置条例、嬉野市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例、嬉野市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例、嬉野市下水道条例の一部を改正する条例などの条例の制定や一部改正が4件、佐賀県後期高齢者医療広域連合規約の変更について、令和6年度一般会計補正予算（第1号）及び令和6年度嬉野市下水道事業会計補正予算（第1号）の2件、嬉野市農業委員会の委員の任命について13件の計29件が上程され、慎重審議の結果すべての議案が可決・承認されました。（賛否表はP6）

今議会の主な条例としては、入湯税等における検討及び協議を行うため嬉野市入湯税等検討

委員会設置条例が制定されました。

また、主な事業としては、地方創生臨時交付金を財源として、非課税世帯への給付金の支給や定額減税における調整給付金の支給などの「低所得者支援及び定額減税補正給付金事業」に2億4726万3千円、物価高騰による子育て世帯の負担を軽減するため、保育所や認定こども園などへの「保育所等給食費支援事業」に1042万5千円、新庁舎移行時に市民の皆様への利便性向上を目的とした窓口を構築するための「BPR推進業務」に1300万円、新型コロナウイルススワクチン費用の見直しによる「定期予防接種事業」に3851万2千円、県補助金の上限額の変更による「さが園芸888整備支援事業」に900万円、「うれしの釜炒り茶文化継承事業」に650万円が予算化されました。

なお、社会資本整備総合交付金の内示額により、道路橋りょう新設改良事業費が4560万円減額されました。

そのほか、継続費、地方債の

補正も併せて行われました。なお、一般会計全体の補正後の総額は前年同期比11億4348万円増の215億1905万円となります。

議案第35号「令和6年度嬉野市下水道事業会計補正予算（第1号）」の収益的収入は、482万6千円を減額し、補正後の総額を8億1708万2千円、収益的支出は334万8千円減額し、補正後の総額は8億1094万6千円となります。また資本的収入は、7000万円減額され、補正後の総額を4億970万7千円、資本的支出は6880万1千円減額し、補正後の総額は5億5877万1千円となります。内訳は、国の内示に伴い農業集落排水機器更新設計及び工事、また公共下水道管路・機器更新設計及び工事の減額が要因となります。



# 議案のなかみ



## 嬉野市入湯税等検討委員会設置条例について

温泉資源保護や観光施設整備等のための長期的財源確保について、検討及び協議を行うための嬉野市入湯税等検討委員会を設置する条例が上程され可決されました。

現在は、宿泊の入湯客は1人1泊あたり150円。日帰りの入湯客は1人1日あたり50円の入湯税が徴収されています。

**問** 宿泊税の導入についても検討するのか。

**答** 現時点では確定していない。委員会の協議の中で宿泊税の検討について提案があれば協議をしていくことになる。宿泊税を導入する場合は、国への申請等の手続きが必要となる。

**問** 今後のスケジュールは。

**答** 今年度は検討会を開催し、入湯税については年度内のとりまとめを目指して協議を進める予定である。



▲ 限りある温泉資源



# 事業のなかみ



## 理数教育研究指定校事業

40万円

佐賀県の理数教育指定校に、轟小学校が指定されました。理数教育の充実のため学校教育における指導方法等の工夫改善等について研究を行い、県内にその成果を広めることを目的として実施されます。

**問** 具体的にどういったことを行うのか。

**答** 「プログラミング的思考」を取り入れた授業実践や環境整備、大学教授による教職員の指導力向上のための指導、先進校視察などを行う。

**問** 指定校となるのは初めてか。

**答** 理数教育では初めてである。

**問** 研究指定期間は。

**答** 2年間で、今年度は校内研究事業。来年度は研究発表をする予定である。



▲ 理数教育の充実に向けて



## 性被害防止対策に係る設備等支援事業

60万円

国による、子ども・若者の性被害防止のための緊急対策として、保育園等でのこどものプライバシー保護や保護者からの確認依頼等に応えるために必要な備品購入費等に要する経費を補助する施策です。

**問** どういったものが補助対象になるのか。

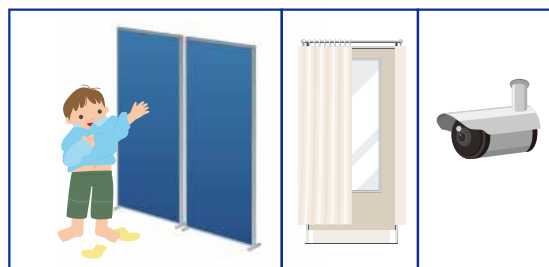
**答** パーテーション、簡易扉、簡易更衣室等の設置に係る経費や保護者からの確認依頼等に応えるためのカメラ（保育の実践記録等）の設置費用である。

**問** 補助を受ける施設はどこか。

**答** 希望された市内の認可保育所2園、認定子ども園4園である。

**問** 補助額はいくらか。

**答** 対象経費の1/2で、1施設あたり上限10万円である。



▲ 安心・安全な環境を

## BPR推進事業(窓口フロントヤード改革調査業務)

1,300万円

市役所での各種手続きにおける市民の利便性向上を図る「ワンストップ窓口」を構築するために、現在の窓口業務を調査分析し、本市に見合った効果的なシステムを検討するための調査委託費です。

**問** 今後の市役所窓口はどのようなイメージか。

**答** いくつかの課にまたがる手続きが必要な場合に、何回も申請書を書かずに一つの窓口で完結できるよう想定している。

**問** 調査を外部委託するメリットは。

**答** ランニングコストなどの費用対効果を見据えた最適なシステムの導入等につなげられる。

**問** 今後のスケジュールは。

**答** 令和6年度中に嬉野市にとっての最適な窓口の具体案を検討し、令和7年度に必要なシステムの構築等を行う計画である。





## うれしの釜炒り茶文化継承事業

650万円

嬉野茶の伝統的な手揉み釜炒り茶は、高齢化も進み継承が困難となっています。そこで、釜炒り茶の様々な記録や書籍類、記録動画を作成し後世へと繋げていきます。釜炒り茶文化を通じて嬉野市民の地域の誇りと愛着を醸成し、文化財登録を目指します。

**問** 取組み内容は。

**答** 手揉み技術など嬉野釜炒り茶の文化技術を調査報告書にまとめ、作成する記録動画は市施設内にて常設展示を行う。

**問** 知名度アップに向けた取組みは。

**答** 嬉野市で開催される全国水源の里シンポジウムでブースを設け、嬉野茶の試飲会を行う。また、幕末に行われた貿易にまつわる各産地の名所をまとめたパンフレットを作成する。



▲ 後世へ繋ごう

## 定額減税調整給付金事業

2億329万円

所得税・個人住民税の定額減税が実施されますが、減税を行う前の所得税・個人住民税額が減税可能額4万円×(本人+扶養親族数)に満たない場合、その差額を給付します。

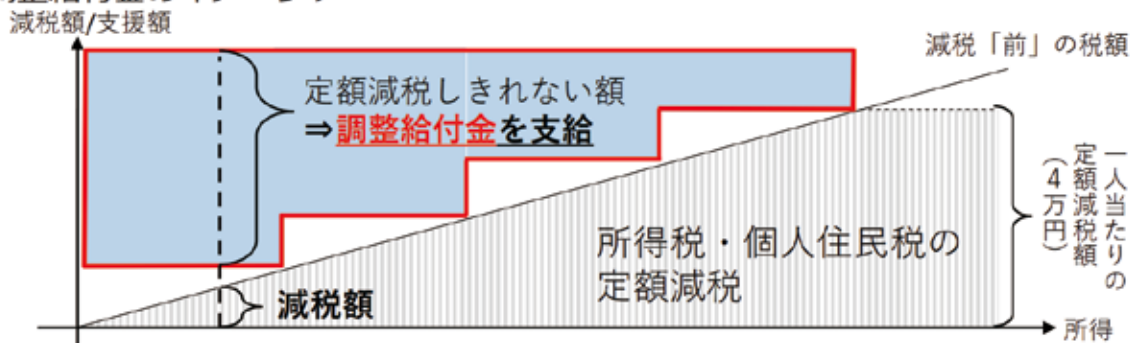
**問** 対象の基準日はいつになるのか。

**答** 令和6年6月3日が基準日となる。

**問** 給付までのスケジュールは。

**答** 現在、給付業務を委託する業者選定に向けて準備を行っており、業者選定次第、早急に給付できるよう努めたい。

### <調整給付金のイメージ>



- ① 定額減税についての詳細は、国税庁HPや総務省HPをご覧ください。
- ② 令和5年の課税状況に基づき、給付額を算定のうえ、令和6年度個人住民税課税団体より支給されます。令和6年分の所得税が令和5年分の所得税よりも減少した場合等には、令和6年分の所得税の確定後に、給付金を追加で支給する場合があります。
- ③ 所得税及び個人住民税所得割それぞれで定額減税しきれない額を算出し、両者を合算の上、1万円単位に切り上げた額が支給額となります。

出典：内閣官房ホームページより



## 農業委員の任命について



嬉野市農業委員会の委員の任命にあたっては嬉野市議会として同意することを決定しました。  
今回、新たに13名の方が嬉野市農業委員会の農業委員に任命されました。

石橋 勇市 氏 (塩田町大字真崎)

中村 法嗣 氏 (嬉野町大字不動山)

吉田 正幸 氏 (塩田町大字谷所)

峰松 善継 氏 (嬉野町大字岩屋川内)

織田伊津子 氏 (塩田町大字五町田)

峰 正已 氏 (嬉野町大字吉田)

前田 安一 氏 (塩田町大字馬場下)

辻 知子 氏 (嬉野町大字吉田)

志田 義信 氏 (塩田町大字久間)

永尾 智子 氏 (嬉野町大字下宿)

梶原 文雄 氏 (塩田町大字久間)

嬉野 奉文 氏 (嬉野町大字下宿)

田中 嘉靖 氏 (塩田町大字大草野)

## 令和6年第2回 定例会議案賛否表(主なもの)

○は賛成 ●は反対 議長は採決に加わりません

議案番号	議案名	番号	結果	表決数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
					水山 洋輔	大串 友則	古川 英子	阿部 愛子	山口 卓也	諸上 栄大	諸井 義人	山口 虎太郎	宮崎 良平	川内 聖二	増田 朝子	森田 明彦	芦塚 典子	田中 政司	梶原 睦也
議案第29号	嬉野市入湯税等検討委員会設置条例について	可決	15:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第30号	嬉野市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について	可決	15:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第31号	嬉野市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について	可決	15:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第32号	嬉野市下水道条例の一部を改正する条例について	可決	15:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第33号	佐賀県後期高齢者医療広域連合規約の変更について	可決	15:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第34号	令和6年度嬉野市一般会計補正予算(第1号)	可決	15:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第35号	令和6年度嬉野市下水道事業会計補正予算(第1号)	可決	15:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

## 陳情

地方財政の充実・強化を求める意見書採択に関する陳情書

佐賀市 全日本自治団体労働組合佐賀県本部

執行委員長 井上 次人氏

ガザ地区の即時停戦のための積極的外交を政府に要求する意見書提出を求める陳情書

愛媛県西条市 松岡 千恵氏

## 嬉野市議会から 国への意見書

地方財政の充実・強化を求める意見書

子育て支援、介護、医療等の社会保障、災害復旧及び災害への備えにおける防災減災対策、観光、商工業における経済対策、また茶業や農業の施策、そしてインフラ整備、地域公共交通の維持等々、多岐にわたる課題が山積している現状であることから、さらなる地方財政の充実と強化は必要不可欠であるため意見書を提出した。

## 全国市議会議長会 表彰で3名が受賞

在籍年数10年以上で森田明彦議員、川内聖二議員、宮崎良平議員の3名が永年議員として全国市議会議長会表彰を受賞されました。今後ますます活躍されますことを期待します。



▲ 左から、宮崎氏、川内氏、森田氏

### 政務活動費(令和5年度分)

支出項目	支出額(円)	利用延べ人数
研究研修費	651,390円	8
調査研究費	1,086,040円	11
資料作成費	95,028円	9
資料購入費	684,022円	14
広報費		
広聴費		
人件費		
事務所費		
要請・陳情活動費	228,392円	3
会議費		
その他の経費		
合計	2,744,872円	

※公費負担額のみ表示

令和5年度の政務活動費を報告します。貴重な公金を使用する政務活動費です。議会として、今後も嬉野市発展のため有効な活用ができるよう努力していきます。

交付額 **3,840,000円**  
(24万円×16名)

返還額 **1,095,128円**

# 「市政を問う！」 一般質問

## 14議員が質問

諸井 義人 議員	P8
森田 明彦 議員	P9
梶原 睦也 議員	P10
川内 聖二 議員	P10
芦塚 典子 議員	P11
水山 洋輔 議員	P12
山口 虎太郎 議員	P12
古川 英子 議員	P13
山口 卓也 議員	P14
諸上 栄大 議員	P14
大串 友則 議員	P15
増田 朝子 議員	P16
阿部 愛子 議員	P16
宮崎 良平 議員	P17



諸井 義人 議員

**諸井** 地域計画の策定及び実行までの流れはどうか。

**市長** 地域での話し合いより目指すべき将来の農地利用の姿を明確化するため令和6年度までに策定することになっており、農地利用の姿を明確化した地図を含めた地域計画

いては来年の3月末ということになっており、延ばすということはない。

**諸井** 集落での説明があるが、集落の単位はどうなっているか。

**産業振興部長** 基本的に集落で地域計画を纏めたいと考えている。

てJAが担ってくれば、私たち農業者は安心して貸し出せるが、展開としては考えられないか。

**市長** 農協も含めたところの地域の担い手、また企業、いろんなあらゆるチャンネルを駆使して地域の農地を守っていく取組みにつなげてま

地域の話し合いをスムーズに進めるために、徹底的にファシリテーション研修を行っている。相互理解を促すところのスキルを高めて、市全体でフォローをしていくという体制を整えている。

また、JAの集落座談会でも説明があり、連携

も密にしているところである。







森田 明彦 議員

## 赤絵の情報発信と活用は

**答** 今後勉強する

**森田** 過去2度にわたり新聞報道された、いわゆる江戸初期の赤絵が吉田の古い窯跡から発掘された事実。現在、実際に発掘された個人で保存、管理されている。このロマンあふれる産業遺産を文化観光情報発信の一環として常設展示等、活用させて頂く考えはないか。

**市長** 焼き物のまちなストリーをつなげることが非常に有意義である。陶磁器産業が現存する中で文化財として窯跡の保全、陶片も含め保存、活用に努めてまいりたい。

**観光商工課長** 肥前吉田焼の貴重性を認識した。

展示等については勉強していく。

**森田** 開業後2年が経過した。多機能に使える屋内スペースと小規模イベントに使える広場整備は計画通り進んだかどう。

**新幹線・まちづくり課長** 屋内スペースについてはまるくアイズを、屋外についてはまるくアイズ横の公園と足湯横の公園にスペースと電気設備等も備えて完了している。

**森田** 馬車が走る時代に塩田嬉野間には電気鉄道

が走った快挙と言える歴史がある。可能なら駅構内かまるくアイズでパネル展示等出来ないか。

**新幹線・まちづくり課長** いろいろ研究させていたがたい。

**防災について**

**森田** 様々な災害に対応する防災メールなどの緊急連絡網の進捗状況は。

**総務・防災課長** 緊急連絡網としては防災行政無線で防災、火災、国民保護情報など広くお知らせしている。また、防災メールやスマホの公式LINEで緊急情報を提供して



▲ 発掘された陶片



そこを意識して今後の施策展開を図る。

## 地域計画の進捗状況は

**答** 50%以上進んでいると認識している

の案を策定する。

次に、この計画案を地域に説明するとともに、意見聴取を行い、地域計画の策定公告という手順を踏んでいく。

**諸井** 地域計画の期限は来年の3月までであるが、延長することはないか。

**農業政策課長** 期限につ

まずは、代表者の方に説明会等をして、アンケート集約の地図を集落に持ち帰ってもらって、そこでしっかりと協議をしていただきたい。

**諸井** J Aは肥料、農業、機械、農業に関するノウハウも全て持ち合わせており、農地の受け手とし

いきたい。

**諸井** 農業委員や農地利用最適化推進委員の協力無しではこの地域計画は進まないと考えている。負担軽減の方策はいかがか。

**農業委員会事務局長** 地域計画策定推進緊急対策事業を活用して業務委託を考えている。



▲ 実情を踏まえた地域計画を



梶原 睦也 議員

**梶原** 災害予測はどのように行っているか。

**市長** 今後の雨量推計や土中水分含有量等のデータと気象庁、佐賀気象台からの情報等をもとに災害予測をしている。

**梶原** 避難情報の決定手順は。

**総務・防災課長** 気象警報をもとに避難所開設の判断をする。例えば佐賀県の防災・減災サイト「すい防君」等を使い避難所エリアを決定する。

**梶原** 地球温暖化に伴う予測不能な気象状況が頻発しているが、この異常気象についてはどう捉えているか。

**市長** 異常気象が常態化していることに強い憂慮を抱いている。これまで以上の対応が必要だ。

**梶原** 水害に限らず、あらゆる災害への対応が必要だ。気象庁が委嘱した防災の知見を兼ね備えた気象の専門家である「気象防災アドバイザー」を本市でも採用すべきではないか。

**市長** 「気象防災アドバイザー」かどうかは別の地域の災害情勢と地理的条件に詳しい人物を災害対策本部に待機させておきたいと考える。職員の中に意欲のある者がい

れば育てていくというのも一つの考えである。その上で「気象防災アドバイザー」についても研究を進めてまいりたい。

### 災害時のトイレ対応について

**梶原** 災害時の仮設トイレが避難所に届き始めるのは発災から4日目以降と言われている。3日間は自治体で携帯トイレ等を確保しなければならぬ。トイレの不足により特に高齢者等は飲食を控えたり我慢したりと災害時の環境整備というのは命にかかわる。本市の状

況はどうか。

**総務・防災課長** 簡易トイレの備蓄量に関し基準は満たしているが、十分とは認識していない。

**梶原** 携帯トイレについ

ては見直しが必要ではないか。

**総務・防災課長** 今後の備蓄品の配分については考えていく。



▲ 嬉野市の災害対策本部の様子

## 気象防災アドバイザーを採用すべきでは

答 研究を進める



川内 聖二 議員

**川内** 今年は、固定資産税の対象となる土地や家屋の税額算定の基礎となる価格を見直す3年に一度の評価替えの年だが、評価額の見直しはどのように行われるのか。

**税務課長** 市内全域を網羅できる標準宅地を設定し、この評価を見直した

宅地の設定を見直すので、利便性の向上や顕著な部分があれば評価額も変わる。また路線価も変わる場合もあり、一概には言えない。

**川内** 豪雨等の自然災害で被災された土地や家屋の所有者に減免措置等はあるのか。

**税務課長** レッドゾーンに指定されると特定の開発行為や建築物に対し構造等の制限があり、影響が出るので減価補正を行っている。

**川内** どのくらいの減税になるのか。

**税務課長** 補正率は0.8%の補正を行っている。

### 区画整理事業について

**川内** 今後、新たな事業計画等があるのか伺う。

**新幹線・まちづくり課長** 現段階においては、計画はない。

**副市長** 持続可能なまちづくりを目指して、住居の誘導区域等をしっかり

見据えて今後も進めていきたい。





芦塚 典子 議員

出生数が半減しているが

答 嬉野市に限ったことではない

**芦塚** 市の子育て支援策は。  
**市長** 切れ目のない子育て支援策を展開している。  
**芦塚** 効果は。  
**市長** 長期的なスパンをもって判断しないと道を誤る可能性がある。  
**芦塚** 市単独の子育て支援策は。  
**市民福祉部長** 小中学校生の医療費助成、ひとり親子育て給付金事業、特別支援保育事業、その他母子健康手帳交付、妊婦検診や赤ちゃん相談や3歳児健康診査等がある。  
**芦塚** 市単独の子育て支援に関する予算が少なくないか。

**市長** 根拠が曖昧、不明瞭で答えられない。  
**芦塚** 不妊・不育治療費助成が、なくなっているのでは。  
**統括保健師** 令和4年度から保険適用になり、中止している。  
**芦塚** 卒業後、市内に居住した場合、奨学金を半額免除することができないか。  
**教育長** 現在のところできない。  
**芦塚** 給食費の無料化はできないか。  
**市長** 無料化できないのはお金の問題ではない。  
**芦塚** 市の出生数の2000年からの推移は。

**統括保健師** 2014年190名、2022年148名である。  
**芦塚** 2000年が283名、2022年に至っては144名と出生数は約半減している。それに対して市の施策は。  
**市民福祉部長** 嬉野市に限ったことではない。国の施策の問題である。  
**かさ上げ工事の補助は**  
**芦塚** 浸水した家屋のかさ上げ工事等に補助を提言していたが。  
**市長** 流域治水には、しっかりと対応していく。  
**芦塚** 武雄市は、浸水後

すぐ9月補正で計上、現在20世帯が利用し、うれしい施策であるが。  
**総務・防災課長** 真に必要な対策は検討していく。  
**芦塚** 武雄市は令和3年から市河川の浚せつ工事34箇所、県河川19箇所実施している。当市の治水対策事業はほぼないが。



土砂災害特別警戒区域の固定資産税は

答 減価補正を行っている

後に路線価を設定する。路線価に対して土地の間口や奥行き等で評価が変わる。路線価に基づいて評価を行う。  
**川内** 土地自体の固定資産税額は見直しでは変わらないのか。  
**税務課長** 実際の売買価格の状況を踏まえて標準

**税務課長** 嬉野市の条例で減免をする条文があり、対象者には減免等を行っている。  
**川内** ハザードマップに示してあるレッドゾーン(土砂災害特別警戒区域)に指定された場合は、減免措置が行われているのか。

**川内** イエローゾーン(土砂災害警戒区域)からレッドゾーンに変更された場合、地権者に対して周知をされているのか。  
**副市長** 基本的に県が指定し、公告している。お尋ね等があれば対応をする。



▲ 被災地には手厚い対応を

**建設課長** 市で管理する河川はないので、治水対策事業はない。



水山 洋輔 議員

## ノウフクJASの取組みは

**答** 幅広く農福連携に対応し  
運用も研究していく

**水山** 農業の担い手と後継者確保の取組みを伺う。

**市長** ハウス団地の整備や新規就農者支援の充実。また、女性農業者同士の交流による組織づくりを行っている。市内の令和4年度の新規就農者は、藤津地区管内で最も多い。

**水山** 農福連携の取組みを伺う。

**農業政策課長** 市内では4戸の施設キウウリ農家の方が収穫作業などで福祉事業所と連携した取組みをされている。

**水山** 市が独自に農福連携のマッチングに取り組む考えはあるか。

**農業政策課長** 市内の福

祉事業所から労働力の提供があれば、福祉課と連携したい。

**福祉課長** 市内だけでは労働力が確実に供給できない点と、障がい者の特性や能力を鑑みて連携されているため、うまくいかない懸念がある。

**水山** ノウフクJASの取組みによるブランド化について伺う。

**市長** ノウフクJAS制度は承知している。幅広く農福連携に対応し、ノウフクJASの運用も研究していきたい。

公園及びスポーツ利用が可能な公共施設について

**水山** 利用料金の減免措置について伺う。

**新幹線・まちづくり課長** 料金や減免は条例に基づき徴収・減免をしている。

**水山** ジュニアスポーツ等の団体への減免措置が考えられないか伺う。

**新幹線・まちづくり課長** 指定管理の施設においては、利用料が指定管理者の収益を伴うため慎重に検討しなければならない。

ライドシェアについて

**水山** ライドシェアにつ

いて市の見解を伺う。

**新幹線・まちづくり課長** 地域交通の一つの担い手として有効だとは思いますが、慎重に検討する必要がある。

**水山** 本市としてのライドシェアの研究は。

**新幹線・まちづくり課長** 武雄市が実証をされるので注視して、一番有効なシステムを考えていく。



山口 虎太郎 議員

**山口** 昨年9月の定例会において、市長は県単事業の茶生産販売対策強化事業が創設され、それに伴いモデル地区をつくると言われた。その後の展開と成果を伺う。

**市長** 令和5年度の県単独事業の茶生産販売対策強化事業は、二番茶の加

加工経費の大部分を占める重油1キロ当たりの使用料が削減をされ、一定の効果があった。

一方で、生葉受入れの調整等が集約組合側で必要ということになり、人手不足の問題が負担となった。今後は、コスト低減と価格向上の両輪で

葉を賄うだけの価格を得る時代であった。今後さらに厳しくなる中で、産地としてどう販路を拓くのか。

**市長** 香りや製茶の技術で高付加価値を生み出して売っているということも参考にしながら、そういった技術的な面でも、

**市長** 産地づくりに様々な支援メニューを用意して対応していく。

**その他の質問**  
・温泉資源について



▲ 農福連携に向けての研究を





古川 英子 議員

## 桜並木の樹木医による調査は

**答** 樹木医による調査は現在実施していない

**古川** 轟の滝公園から塩田川兩岸の桜並木の保守点検はどのように行っているのか。

**新幹線・まちづくり課長** 桜並木は植樹後、何年経っているか。約50年は経っていると聞いている。

**古川** かなり年数が経っているが、新しい苗木を植樹するという考えはないか。

**新幹線・まちづくり課長** 現在は考えていないが、倒木もあり、今後調査を含め検討していきたい。

**古川** 湯野田から不動山方面にかけての国道34号での補修工事計画はあるか。

**市長** 補修計画はない。

**古川** 県に確認すると計画を申請するが、なかなか許可がおりてこない現状である。市の安全のために更に要望する。また

**市長** ソメイヨシノは、ある種50年が一つの寿命の目安でもあることを考えると、今後計画的に植え替えながら景観形成をしていくことも大事だと思う。

**嬉野市内の道路の補修工事について**

市道一丁田線で道路の中央にあるマンホールが浮かび上がっているように見受ける箇所がある。補修工事の予定はあるか。

**建設課長** 補修工事を今年度予算で実施予定である。

**古川** 日本一のお茶の産地で駅を降りても「新茶」の機運が感じられない。ポスターや旗など設置できなかったのか。

**茶業振興課長** 品評会後はポスターを配布していた。今後検討しPRしていきたい。

**うれしの茶の普及販売について**

**古川** 市内の一部の小売店では他県のお茶が販売されている。茶商と連携を取りながら嬉野には嬉野茶を置いて頂きたいと思うがいかがか。

**茶業振興課長** 茶商と小売店の問題となり介入できない。



咲かない桜

## 基幹産業である茶振興策は

**答** 県単独事業を利用し生葉の集約化を推進

工を生産者が集約組合に加工委託をすることで工場の稼働率を上げて経費削減を図り、集約組合及び生産者双方の利益確保につなげる事業を行った。令和5年度の実績を令和4年度と比較すると、集約組合工場での稼働率が上がったことにより、

の取組みが必要である。二番茶の価格低下が危惧をされる中で、集約組合と生産者双方の利益確保となるように慎重に進められている。

**山口** 生産者の立場から言えば、これまでは一番茶で生活費を支える収入を得、二番茶で肥料、農

今の慣行栽培、慣行製造法の脱却というものも少し考えながら、特に若手の生産者の技術向上に活路を見いだして、毎月毎月お茶を買っていただけるような場所をつくる。

**山口** 市のトップとして命がけで、うれしの茶業を守るべきではないか。



▲ 改植による品質向上を



山口 卓也 議員

## 水稲直播を推進していく 考えは

**答** 試験田の結果を  
踏まえ判断していく

**山口** 水稲直播とはどのような栽培方法か。

**農業政策課長** 乾田直まきは麦まき機で種もみをまき、転圧してする栽培方法である。

**山口** 嬉野市における水稲直播の現状は。

**農業政策課長** 令和5年度の作付け状況の乾田直まきは3ha。塩田町の酒米生産法人で約9haである。

**山口** 将来的な担い手不足、農地集約化を踏まえると非常に重要な取組みだと思う。嬉野市として推進していく考えは。

**農業政策課長** 苗を作らず超低コストが可能で、

農地の受け皿づくりの手段の一つになると考える。

今年度、中山間地域における乾田直まき栽培の導入可能性をみるため、試験田を嬉野町真上吉田と塩田町石垣に1か所ずつ設置している。試験田の結果を踏まえ普及推進について判断していきたい。

**太陽光発電設備に係る維持管理等について**

**山口** 市所有地で稼働中の太陽光発電設備「嬉野吉田パーク」から流れ出る水路に土砂が堆積しているが、市として撤去が必要ではないか。

**財政課長** 敷地内からの土砂流出等は目視できないので改めて検討したい。

**山口** 今年4月、市は太陽光発電設備の適正な設置及び管理に関する条例を制定した。周辺環境に間接的でも影響があれば事業者に対し対応を求める条例だ。土地所有者である嬉野市は事業者に該当するか。

**新幹線・まちづくり課長**

条例では、市は事業者に位置づけられる。

**山口** 条例における事業者の責務は何か。

**新幹線・まちづくり課長** 「事業者は、(中略)太陽光発電の実施により事業

区域の周辺における生活環境に影響を及ぼすこと

となったときは、直ちに必要措置を講じるとともに、誠意をもってその解決にあたらなければならない」とある。

**山口** 市が見本となるような、誠意ある対応が必要ではないか。



▲ 試験田での乾田直まきの様子

**新幹線・まちづくり課長** 発電設備からの影響が大きければ、市を含め対応しなければならない。



諸上 栄大 議員

**諸上** 現在、轟の滝公園プールは閉鎖中だが理由を伺う。

**市長** 管理人室や更衣室の雨漏りや、ろ過器の故障など老朽化による大規模改修の必要性が年々かさんでいく見込みであることに加え、少子化やコロナ禍の影響による利用

今後検討したい。

**諸上** 解体するということは、プールの利活用という選択肢はないのか。

**市長** プールは定期的に補修費がかかる。公共施設の全体の管理という観点から考えた時、プールの機能を維持しながら今後の維持管理、補修費を

委員会等を立ち上げて、プールの跡地活用も視野に入れることができるか。

**市長** プールの立地は轟の滝裏側から、滝をさらに上から見下ろすようなロケーションであり、そのようなところを連動した活用ができないか、既

滝が観光地の目玉ということもあるので、部署間の連携に観光商工課も加えて今後の活用について考えていきたい。

**その他の質問**

- ・公有財産について
- ・イベントについて





大串 友則 議員

様々な意見を取り入れながら部活動の地域移行を

答 様々な意見聴取は出来る

**大串** 市内中学校の部活動を民間に委ねる地域移行の進捗状況は。  
**教育長** 昨年度は、県教育委員会主催の連絡協議会に参加し、県や他市町の状態について情報収集を行った。  
 今年度は、今後の具体的な方向性を定めるため、部活動検討委員会を設置する予定である。  
**大串** 来年度の予定は。  
**教育長** 来年度は、令和8年度からの運用開始に向けた具体的な計画案を作成する。  
**大串** 検討委員会での協議内容は。  
**教育長** スポーツ協会、

文化協会、保護者、学校関係者等で今後の嬉野流のやり方を協議する。  
 部活動なので、生徒自身が興味関心を持ち、主体的に取組みをしていくようにしたいと思っている。  
**大串** 部活の意義は、技術・知識の取得、チームワークの育成、自己規律の向上、ストレス解消・リフレッシュ、友情の醸成、達成感と自己肯定感の向上などが考えられ、部活を通して学ぶことはたくさんあると思う。  
 子どもたちの意見も聞きながら、子どもたちが取り残されることのない

部活の地域移行を行ってほしいが、アンケート調査なども行われるのか。  
**教育長** 第1回目の検討委員会の開催時に、子どもたちへのアンケートについても検討している。  
 令和8年度からスタートするに当たって、現在の小学校5年生以上の子どもたちと、その保護者にアンケート調査を行うことで、様々な意見聴取ができるものと考えている。  
**大串** SAGA2024 国スポ・全障スポでは、どのようなおもてなしを

観光施策について

平日	休日
<p>学校部活動</p> <p>◆ 教師の勤務を要する日(平日)において学校の活動として行われる部活動</p> <p>〈学校の教職員〉</p>	<p>地域部活動</p> <p>◆ 教師の勤務を要しない且(休日)において地域の活動として行われる部活動</p> <p>〈地域の指導者〉</p>
<p>希望する教職員は兼業申請により指導に従事することも可能</p>	

▲ 部活動の地域移行を分かりやすく



考えているのか伺う。  
**SAGA2024 推進課長** 大会会場では、お茶のふるまいを考えている。  
 また、吉田地区では園児たちが田植えを行って

おり産地米おにぎりのふるまいを計画している。

轟の滝公園プールの利活用は

答 親しまれるスポットとなるよう活用を考えていきたい

者数の大幅減などの要因で、令和3年3月31日をもって閉鎖した。  
**諸上** 今後についての考えは。  
**市長** プール自体の解体が進んでいない。都市公園区域内の施設であるので、公園のほうの情緒にも合ったような利活用を

検討していくというのは困難だと判断をしている。  
**諸上** 別の方向性を考えていくにあたり、取り壊し後に考えるのではなく、都市公園区域内の施設でもあるため、現段階から計画的に各課の横断的な連携のもとに検討

にある事業者とも相談をしたいと思う。親しまれるスポットとしての活用になるように意見を求めたいと思っている。  
 民間活用はあくまで選択肢の一つにすぎず、私も公共としての利用の可能性も当然模索をしなければならぬ中、轟の



▲ 新たなスポットとなることに期待!!



増田 朝子 議員

### 両親学級について 幅広い広報を

答 検討していきたい

**増田** ゆつづら子育て応援事業の「伴走型支援」の内容を伺う。

**統括保健師** 妊娠、出産、子育ての期間を通じて相談支援を行う。妊娠届出時の個別相談、妊娠8か月頃の両親学級やアンケートによる相談、出産後の赤ちゃん訪問、赤ちゃん相談、母子保健推進委員による訪問や子育て支援センター、こどもセンター「リュッケ」による情報発信や相談支援がある。

**増田** 両親学級「プレパパ・ママのための赤ちゃんのサーキットトレーニング」の取組みと

効果を伺う。

**統括保健師** 抱っこ、おむつ交換、着替え、沐浴などの体験を1カププルに対し、1人の助産師が付き添って指導を行っている。令和5年度は、11回の開催で35組67名の参加があり、大変好評であった。

**増田** 「里帰り出産も相談ください」とあるが、対象に入れてもらえないか。  
**統括保健師** 参加はできるが、嬉野の方が優先ということである。

**増田** 周知はどのようにされているか。  
**統括保健師** 妊娠届出時と母子手帳交付時に一人

ひとりに案内し、ホームページにも掲載している。

**増田** 案内を当事者だけでなく、市報のカレンダー、市の公式ラインへの掲載、民生委員や児童民生委員の方にも幅広く周知をしていただきたいかがか。  
**統括保健師** 幅広く周知は大切だが、個別に案内しているので検討したい。

### 学校における健康診断について

**増田** 健康診断の項目は、いくつあるか。  
**教育長** 11項目ある。

**増田** 受けていない児童

生徒は何人か。

**教育長** 全項目受けていないのは、2人である。  
**増田** 受けていない児童生徒への対応はどうしているか。  
**教育長** 学校の施設にて無料で受診している。

**増田** かかりつけでは受診できないか。  
**教育長** 医師会に相談する。



▲ プレパパ・ママのための赤ちゃんトレーニングの様子



阿部 愛子 議員

**阿部** 食料自給率向上に向けた農業生産促進について重点的な農業政策を伺う。

**市長** 佐賀県は食料を供給する側と位置づけられている。重点農業施策は、新規就農者の確保や育成、スマート農業に代表される省力化と経営安定につ

**農業政策課長** 現在価格保証や所得補償は行っていない。

### 嬉野産の地産地消について

**阿部** うれしのうまかもん給食支援事業、食材の一部負担経費支援事業の

**阿部** 県内の農業事業でも学校給食に有機農業を活用する計画もある。安心安全なアグロエコロジーを推進する考えはあるか。  
**市長** 市場価格に反映されづらいという事情がある。給食への導入を視野に入れて研究し

**新幹線・まちづくり課長** 実際のどのような形で使えないのか把握できていない。一度詳細に確認する。  
**阿部** 文化センター3階トイレの洋式への改修計画はあるか伺う。

**教育部長** 施設内の和式トイレは11カ所あり、今後半数程度を洋式に改修する予定である。







宮崎 良平 議員

## 嬉野バスセンターの 今後の在り方は

**答** 早期に改善を求めていくタイミングだと思う

**宮崎** 市内観光拠点として嬉野バスセンターが挙げられるが、老朽化及びトイレ改修等、市民の声が多くあがっている状況において、民間2事業者とのバスセンターの在り方について市として協議等行っているのか伺う。

**新幹線・まちづくり課長** 昭和45年に建築をされ、非常に老朽化が進んでいる。2つの事業者が所有されており、双方の民間事業者と協議を2回程度行った。

**宮崎** 耐震診断等実施された経緯はあるか。

**副市長** 以前市内全域において大規模な建物の耐

震診断を行った。ただ、バスセンターの面積自体は大きいですが、所有者が2事業者それぞれの所有物と見た場合、大規模の建物に当たらず、耐震の診断が必要な建物ではないという経緯がある。

**宮崎** 民間の所有物であり、行政として関与しにくいとは思いますが、温泉街の玄関口であり、シンボルであり、一等地である。また市内各所から切実な声も上がっている。更なる協議を続けていくべきかと考えるがいかがか。

**市長** 市としても2事業者に対し、早期に改善を強く求めていかなければ

ならないタイミングにはなってきたと思うている。また制度上、現在、補助の対象外であるが、何とか認めていただくことも含めて国に対し汗をかきたいと思っている。

**茶市の開催について**

**宮崎** 新茶時期に茶市を開催してほしいと市民からの要望がある。何のしがらみもなく、市が熱量を持ち、旗振り役として機運を高め開催していくことが必要かと思うが市の見解を伺う。

**市長** 自発的に嬉野のお茶にまつわるイベントを



▲ 老朽化するバスセンター

## 食料自給率向上に向けた 農業政策は

**答** 農業の振興を図っていききたい

きる。スマート農機導入の集落営農組織への支援・新規の設備投資等への補助・研修の機会等を設けている。今後も食料安全保障の観点からも農業振興を図っていききたい。

**阿部** 個人農業者に対する市独自の価格保証や所得補償があるか。

補助日数として10日であるが間違いないか。

**農業政策課長** 要綱上10日以上となっており、予算の中で増やしていくこともある。

**阿部** 学校給食用の小麦と米の産地はどこか。

**教育長** 佐賀県産が100%使われている。

ていきたい。

**誰もが使いやすい  
トイレ改修について**

**阿部** みゆき公園野球場の東側のトイレに、和式便座の個室が7基ある。5基が使用禁止。2基しか使えないのはなぜか。



▲ 食の自給率向上を

みんなでしていくべきと、活性化協議会や、あらゆる場面で呼びかけながら、一歩一歩粘り強く取り組んでいく。

**その他の質問**

- ・災害関連死について
- ・旧医療センター跡地の現況について



# 動く!! 委員会

## 災害対策について

総務企画常任委員会

### 調査理由

河川ライブカメラの整備状況や防災関連システムの活用状況と被災した箇所の復旧工事の状況について調査した。

### 調査概要Ⅰ

- ①「河川ライブカメラ」（塩田町内4箇所設置）
- ②防災行政無線システム
- ③Jアラート受信機等
- ④ニュースダイジェスト

### 調査概要Ⅱ

「被災箇所の復旧工事の状況について」

### 委員会の意見

防災状況を確認するシステムについては、特に河川ライブカメラはケーブルテレビや市のホームページからすぐ見ることができ、非常に有益なツールである。今後、嬉野町内の河川への設置が検討できれば充実が図

られる。新しい取り組みのニュー

スダイジェストの運用については、消防団や区長、一般市民の方からの被災箇所等の情報を受けるアプリであり、市民への周知や活用の向上に努めることが重要である。

また、令和2年、令和3年に被災した箇所は、通行止めが生じるなど日常生活に多大な不便を強いられている状況であるので引き続き円滑な工事進行を期待したい。



▲被災箇所の現状視察

## 障がい児通所サービスについて

文教福祉常任委員会

### 調査の理由

障がい児通所サービスの放課後等デイサービスの現場と課題を調査した。

### 調査概要Ⅰ

- ①障害福祉サービスの概要
- ②障がい児通所給付費等事業及び通所支援の現状

### 調査概要Ⅱ

- ①放課後等デイサービスについて
- ②障がい児通所支援事業所「ココテラス」、「はればれ」の現場研修

現場研修

### 委員会の意見

児童の障がい程度に応じた細やかな配慮が行われていた。机や椅子の形状にこだわり児童の姿勢維持やパーテーションなど児童が落ち着いていた環境で過ごせる場を提供していた。室内でボルダリングができた。川遊びや体験教育など児童の豊かな感性を伸

ばす取組みが行われていた。しかしサービスの対象年齢が過ぎ、特に知的障害や自閉症、学習障害等を持った方の受け皿の確保等が課題である。子どもの発達段階に応じた、行政の切れ目のない横断的な取組みが重要である。

最後に、子どもの発達段階においては、行政の横断的な取組みが重要であり、本市においても子どももまんなか社会の実現に向けた取組みが積極的に行われることを強く望む。



▲障がい児通所支援事業について学ぶ

# 公共施設について

産業建設常任委員会

## 調査理由

所管の施設について、嬉野市所有の確認と建築40年以上の都市公園の現状、また嬉野市が所有する塵芥中継基地の調査を行った。

## 調査概要Ⅰ

都市公園（東公園、曙児童公園、立石児童公園）等の現状と維持管理について。

## 塵芥中継基地

嬉野市の脱炭素「ゼロカーボンシティ」への取り組みへ大きく貢献する施設であり、塵芥中継基地委託業者への支援は継続的に行う必要がある。

## 調査概要Ⅱ

32年が経過している塵芥中継基地の現状について。

## 委員会の意見

### 都市公園

都市公園においては市民や特に子どもたちの安全を第一に考え、段差をなくすバリアフリー化や危険箇所の整備が必要である。また



▲ 塵芥中継基地の現状視察

## 閉会中の委員会審査(調査)付託案件

令和6年第2回定例会

付託事件名	付託委員会名	付託期間
基金等の運用・管理について	総務企画常任委員会	次期定例会まで
市民福祉部及び教育委員会の所管に関する事項について	文教福祉常任委員会	次期定例会まで
観光について	産業建設常任委員会	次期定例会まで
各期の議会の会期日程等の議会運営に関する事項及び議長 の諮問に関する事項	議会運営委員会	次期定例会まで
議会の活性化を図るための調査研究	議会活性化特別委員会	調査終了まで
議会広報の編集発行に係る調査研究	議会広報編集特別委員会	調査終了まで
市庁舎のあり方に関する調査研究	市庁舎検討特別委員会	調査終了まで
議会ICT化の推進に係る調査研究	議会ICTの推進に係る特別委員会	調査終了まで

## 訂正とお詫び

1. 前回発行した議会だよりVol.73の芦塚典子議員の一般質問(P15)4段目16行目の記事において誤りがありましたので、訂正してお詫びいたします。

### 【前号の記事】

建設課長

市が管理している河川は災害発生時に河川**債**として出している。

### 【訂正後】

建設課長

市が管理している河川は災害発生時に河川**災**として出している。

2. 前回発行した議会だよりVol.73のP23の総務企画常任委員会の担当部署において「広報・広聴課」の掲載漏れがありましたので、お詫びいたします。

## 第3回定例会(9月)会期日程(案)

開会	8月29日
常任委員会	9月2日～3日
議案質疑	9月6日、9月9日
一般質問	9月11日～13日
討論・採決(決算認定議案以外)	9月17日
決算議案質疑	9月19日、20日
決算特別委員会	9月24日～10月4日
討論・採決(決算)、閉会	10月4日

今年開催される、**SAGA2024国スポ・全障スポ**を支える、「**SAGA2024推進課**」の皆さんをご紹介します。

トピックス  
ときを読む

# SAGA 2024

国スポ・全障スポ  
新しい大会へ。  
すべての人に、スポーツのチカラを。



## Q 開催に向けた取り組みは？

**金田課長** レスリングの浜口京子氏をお招きし、1000日前イベントを開催しました。また、様々な団体等へ協力を依頼し、選手にふるまうおにぎり用の米づくりやメッセージボードの作成、花いっぱい活動など10月に向けてのおもてなしにも、着々と取り組んでいます。

**Q 大会ボランティアの募集は？**  
**金田課長** 嬉野市のスポーツサポーター制度を通じて、ボランティアに協力していただくようにしています。

## なぎなたについて

**Q 見どころは？**  
**橋口主任** 少年女子（高校生）と青年女子（一般）があり、団体と演技の種目があります。全国トップの選手の迫力や「気・剣・体一致」が揃って一本となるところをぜひ、見てほしいです。

## Q 今後の市内のなぎなたの展望は？

**橋口主任** 国スポを通して、なぎなたを知っていただき、ぜひ、興味を持ってもらいたいと思います。

## レスリングについて

**Q 見どころは？**

**成富主任** 今回初の試みとして、一部ナイターでの開催をします。また、オリンピックメダリストによるイベントなどで、会場を盛り上げる計画です。

**Q 今後の市内のレスリングの展望は？**  
**成富主任** 強化拠点としても



テンシヤルがあり、競技を通して、より嬉野市の良さを知ってもらいたいです。

## 軟式野球について

## Q 嬉野市では何試合？

**中野主事・宮園主事** 6市町共同開催で行われ、市内では、1回戦が2試合と7位8位決定戦の1試合のみゆき球場に行われます。

## Q 開催に向けて注力している取り組みは？

**中野主事・宮園主事** いかにして、より多くの方に観戦してもらえるか、事前広報にも力を入れています。ぜひ、見に来て下さい。

## 取材を終えて

国スポ・全障スポに向けて様々な形で、市全体で「おもてなし」に取り組まれています。職員の皆さんの大会に向けた意気込みを聞き、パワーをもらいました。大会本番が、とても待ち遠しくなる取材となりました。



## その他の開催競技

- ・スポーツチャンバラ
- ・武術太極拳
- ・ポッチャ
- ・電動車いすサッカー



嬉野市HP



X



Instagram

競技日程や最新情報は  
こちら

## C COLUMN

7月に行われた東京都知事選挙では、過去最多の56人が立候補し候補者が乱立する状況となった▼ニュースに目を向けると、候補者ではない人や動物のポスターを掲示板に貼る「掲示板ジャック」が起こっているとの報道▼選挙戦当初は、候補者の政策ではなく、異様な事態に注目が集まった▼地方自治体では二元代表制により首長・議員を有権者が直接選ぶことができる▼そういう意味では、首長や議員の責務は重い▼当選回数に気にする人もいるが、1期目だろうとそれ以上でも議員としての責務は同じであり「新人だから」といった理由は通用しない▼議員で40歳は若いと言われるが社会人ではベテランになる▼議員と社会人のギャップを感じながらも、謙虚にポジティブに取り組もう。

(洋輔)

## 議会広報編集 特別委員会

委員長	宮崎良平
副委員長	水山洋輔
委員	梶原睦也
委員	芦塚典子
委員	増田朝子
委員	山口卓也
委員	古川英子